

関節リウマチの治療薬

関節リウマチの治療に使われる薬は、大きく分けて二種類あります。非ステロイド性抗炎症薬と抗リウマチ薬です。主治医は数ある薬の中から、患者さん一人一人の状態に見合った薬を選択して処方しています。自分の判断で薬の量や種類を勝手に変えずに、医師の指示どおりに飲んでください。どんな薬にも副作用があります。副作用には外から見てすぐわかるものと、検査してはじめてわかるものがあります。薬を飲んでいつもと違ったことがあれば、主治医に申告してください。

治療ではこの様なお薬が用いられます。

薬剤種類	効能	商品名	一般名
非ステロイド性 消炎鎮痛薬 (NSAID)	炎症や痛みの改善に使われます。しかし、関節がこわれるのをおさえる働きはありません。	・セレコックス	・セレコキシブ
		・ロキソニン	・ロキソプロフェンナトリウム
抗リウマチ薬 (DMARD・MTX)	関節リウマチの免疫の異常を改善させます。関節がこわれるのをおさえる働きがあります。	・リマチルなど	・ブシラミン
		・アザルフィジン EN 等	・サラゾスルファピリジン
		・リウマトレックス等	・メトトレキサート <small>(※1)</small>
		・ブレディニン等	・ミゾリビン
		・プログラフ等	・タクロリムス
生物学的製剤	他の治療で十分に病勢のコントロールが出来ない場合、出来るだけ早期に生物学的製剤を導入して関節破壊を防ぐ目的で皮下注射または点滴投与します。	・レミケード	・インフリキシマブ
		・ヒュミラ	・アダリムマブ
		・エンブレル	・エタネルセプト
		・オレンシア	・アバタセプト
		・アクテムラ	・トシリズマブ
		・シンポニー	・ゴリムマブ
		・シムジア	・セルトリズマブベゴル
副腎皮質ホルモン (ステロイド薬)	少量で炎症を抑えることができますが。しかし、使う量が多かったり、使用期間が長くなると重い副作用があらわれることがあります。	・プレドニゾロン	・プレドニゾロン
		・プレドニン	・プレドニゾロン
JAK 阻害剤 (ヤヌスキナーゼ)	新しい作用機序で炎症をおさえたり、関節がこわれるのを抑えることができます。	・ゼルヤンツ	・トファシチニブ

(※1) 免疫抑制作用を持つリウマチ薬でアンカードラッグと言われ世界的に使用されている薬剤です。